

地域の枠を超えたコーディネーターとして「放牧酪農の価値」を次世代へ

数多くの酪農家に多大な影響を与えた放牧酪農家（故人）に関わりが深い三者による対談を地域の枠を超えて実施し、新規就農と地域活性化を掘り下げ、HP上で対談内容を発信。

○ 施策分類

新規就農

○ きっかけ・背景、課題の把握

当拠点では、新規就農者との意見交換や、HP上での情報発信を通じて、新規就農の推進を行ってきたが、担い手の呼び込みにつながる新たな視点での情報発信を模索していた。そのような中、足寄町では、放牧酪農が地域の魅力となって新規就農者の増加や地域活性化につながっていた。

○ 取組の内容

放牧酪農の先駆者で知られる足寄町の吉川友二氏（故人）に影響を与えた上川管内占冠村の生産者、足寄町で親元就農（放牧酪農）した吉川友二氏のご子息に加え、放牧酪農をチーズ職人として側面支援する足寄町の食品事業者という立場の異なる三者による対談を実施した。放牧酪農がもつ魅力や付加価値の創出、持続可能性に着目しながら、新規就農の現状と課題、地域活性化の可能性についてを意見交換を行った。

○ 効果・成果、今後の方向性

対談内容を拠点HPで公開し、放牧酪農というスタイルが有する魅力や価値、地域づくりの可能性等について関係者の率直な声を発信することができた。今後は把握した課題を基に、次世代の酪農家の呼び込みと、このことによる地域活性化につながる情報発信に注力しつつ、視点を変えながら多様な者をつなぎ、新規就農の関心を高める取組を推進していく。

【帯広地域拠点HP】＜対談＞放牧酪農で未来を拓く担い手

URL : <https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/torikumijirei/interview.html>



放牧酪農で未来を拓く担い手

足寄町から広がる新規就農と地域活性の可能性—

北海道・足寄町。広大な自然に囲まれたこの町では、放牧地に乳用牛を放して飼養する放牧酪農というスタイルが根付き、地域の魅力として注目を集めています。近年では、都市部から移住して新たに酪農を始める「新規就農者」が増えつつあり、地域の活性化にもつながっています。

今回の対談では、父・吉川友二氏の後継として親元就農で酪農を始めた若手農業者の吉川元氏、放牧酪農の先駆者で、吉川友二氏をはじめ多くの酪農家に影響を与え、現在も酪農の魅力向上に尽力する海野泰彦氏、そして、放牧酪農の生乳に惚れ込みチーズ職人として酪農の魅力を伝える本間幸雄氏の三名に話を伺いました。

立場の異なる彼らの言葉からは、農業の可能性と地域の未来を見据えた想いが伝わってきます。



対談記事（HPから抜粋）

新規就農について対談する様子

体制図

